

信州大学国際科学イノベーションセンターについて

ものづくり振興課

1 背景

○全世界では深刻な水不足

- ①全世界約71億人のうち、約11億人が安全な飲み水を確保できない
- ②農業用水の不足で、約9億人が食糧不足にさらされている
- ③人類が利用可能な淡水は、全体のわずか0.01%である

2 目標

○「革新的な造水・水循環システム」を実現し、世界的な「水」問題を解決する



3 経緯

○平成25年3月(ハード事業採択)

信州大学、東レ、昭和電工、長野県が本整備事業を文部科学省に共同提案
(全国で15か所採択)

○平成27年6月 本センター開所式



地上7階
地下1階
延床面積1万㎡

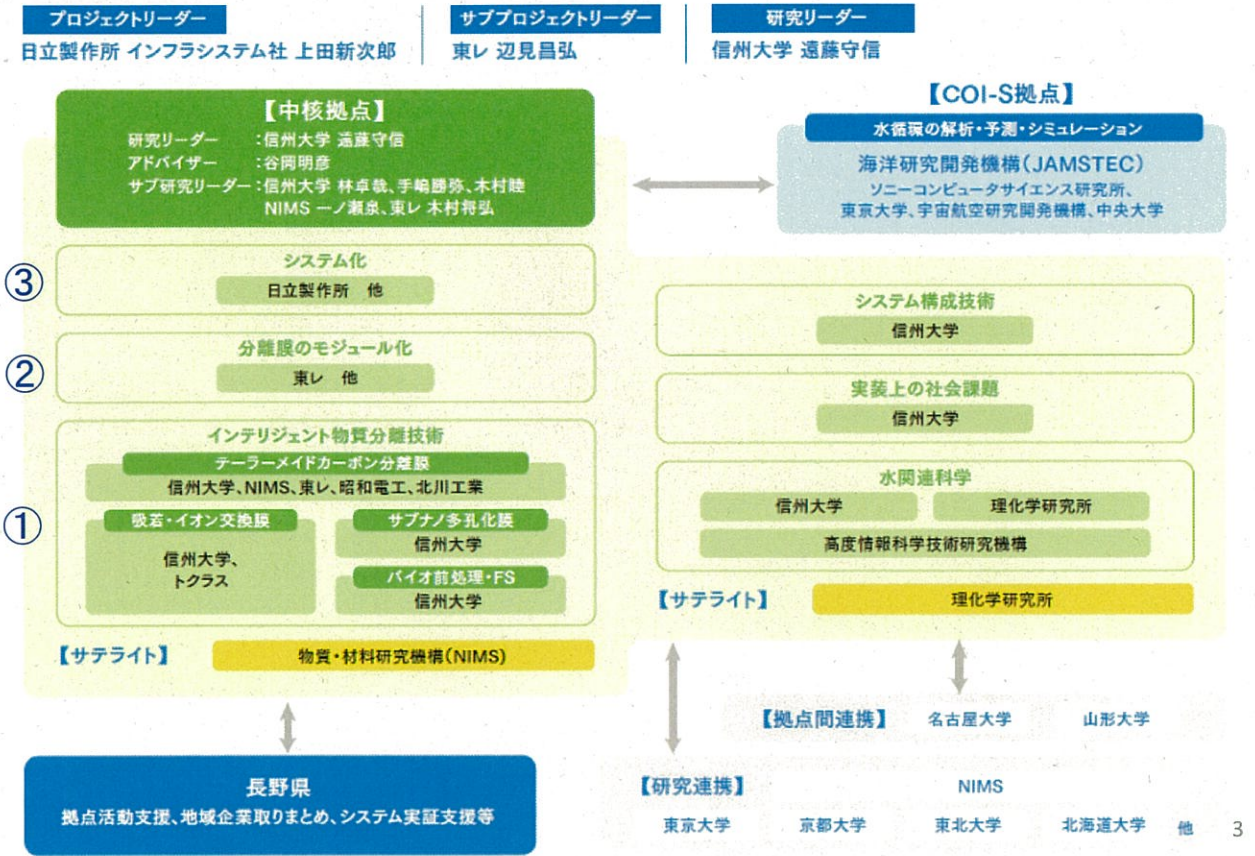
6~7階
プロジェクト実験室
4~5階
産学共同実験室
3階
研究オフィス 等
2階
展示コーナー 等
1階
エントランス 等
地下1階
実験室

○平成25年10月(ソフト事業採択)

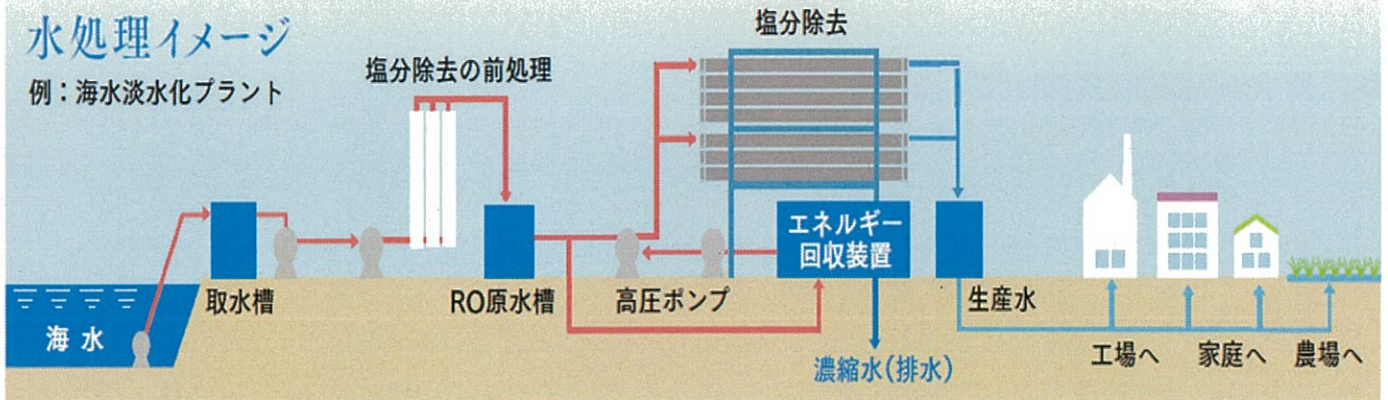
信州大学、日立製作所インフラシステム社、東レ、昭和電工、物質・材料研究機構、長野県が本ソフト事業(アクア・イノベーション拠点)を文部科学省に共同提案
(全国で12拠点採択:最長9年間の事業)

4 研究開発体制

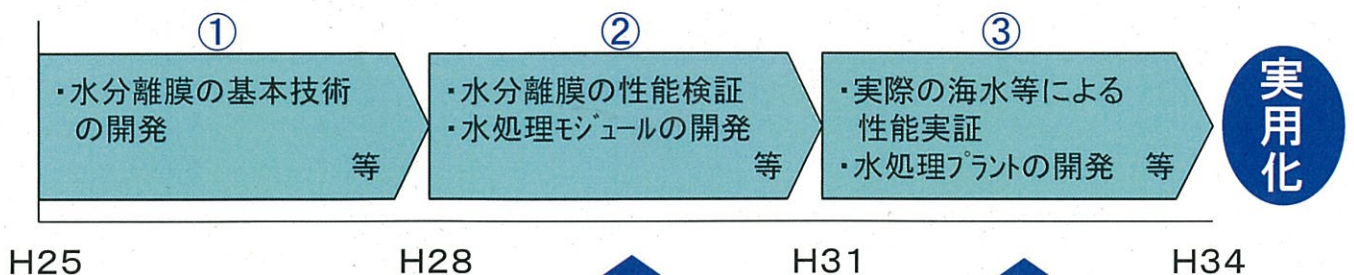
一つ屋根の下、産学官連携によるオールジャパン体制で研究開発推進中



5 水処理のイメージ



6 スケジュール



★今後、研究開発状況に応じた県内企業の参画促進